

# 平成26年度 第12回 猿投台地域会議 会議録

日 時：平成27年1月15日（木） 19：00～20：25

場 所：西広瀬町公民館

出席者：地域会議委員 16 名

会 長	中根一晴				
副会長	高木里美				
委 員	伊藤 宏	梅村幸治	延命千里	佐藤嘉之	沢井 晃
	澤井毅弘	谷 朋興	塚本政幸	築山二郎	古川勝義
	本多 明	水嶋俊之	三宅 實	山下久子	
猿投支所	竹田康孝	山内真琴	太田 隆	山田浩晃	
オブザーバー	木本文也市議会議員				
ワークショップ参加市民	20名				

欠席者： 4 名

傍聴人： 0 名

## 次第

- 1 地域会議会長あいさつ
- 2 猿投台地区まちづくりビジョン策定ワークショップ地区別意見交換会  
(西広瀬町・枝下町自治区)
- 3 わくわく事業団体訪問について  
事務連絡

## 議事等（要約）

- 1 中根地域会議会長あいさつ  
木本市議会議員あいさつ
- 2 猿投台地区まちづくりビジョン策定ワークショップ地区別意見交換会  
西広瀬町、枝下町の住民を対象に、地域会議で協議してきたまちづくりビジョン（素案）を説明し、質疑応答及び意見交換を行った。  
まず、まちづくりビジョン（素案）全体の説明の後、本日の該当地区のまちづくり目標・方針（素案）について担当委員から説明した。  
参加者から出された意見は次のとおり。
  - ・3ページに当地区は飯田街道とともに発展してきたというように記載されているが、飯田街道は平戸橋など猿投台でも南部地区を走っており、ここは県道11号豊田明智線が唯一の主要道路となっている。記載方法を工夫してもらいたい。  
【事務局】：内容を整理して記載します。
  - ・7ページに自然豊かな山林が広がっていると記載されているが、何が豊かなのか読み取れない。生物の宝庫であるとともに、神社の歴史も古く、山城跡も多数確認されている。  
【事務局】：これも書き方を工夫します。
  - ・アンケート調査結果の表示も猿投台全体でまとめても北部地区(西広瀬・枝下地区)は環境が違う。自治区単位など何かしら分けて表記できないか。  
【事務局】：自然災害への心配など特徴的な事項があれば整理して記載したい。
  - ・北部地区は石野地区や藤岡地区と生活圏が密となっている。しかし施設等の整備状況や情報発信力では劣っているような気がする。もっと若い人の意見を聞いて将来への計画を作ってほしい。  
【事務局】：すでに猿投台中学校生徒約400人とそのPTA 関係者からも意見を

うかがっているが、本日の資料には反映されていない。今後、その意見を取り入れた表現をしていきます。

- この地域は市街化調整区域ではあるが、過疎化対策で住宅は建てられるということを書いてもらいたい。

【事務局】：まちづくりの目標と方針（素案）の中で少し記載しているが、来年度に実施計画を作成する中で具体的に検討していきます。

- この地域の目標1に「旧飯田街道に面していることから」という記載があるが直した方がいい。西広瀬工業団地を記載したらいいと思う。
- 方針1の自然にふれあえる場づくりで、西広瀬は東海自然歩道が通っているが藤岡地区に近い方は草だらけで歩きにくくなっていた。一日安心してゆったり歩ける散策道ができるといい。

【参加者】：東海自然歩道は委託を受けた担当者が月に1～2回パトロールして管理している。

- 名鉄三河線廃線跡の計画はあるのか。

【事務局】：以前跡地活用に関する構想はあったが、具体的な計画でなく、第7次豊田市総合計画には取り上げられなかった。今は、駅周辺等地域住民が活用している所については、市が名鉄から用地を借り受け、一部市が草刈等を実施している。支所としては、そうした地域活動を支援するという立場だ。

- 以前「夢ロード創造会議」という会があって活用方法を話し合ったことがある。

【事務局】：市が名鉄から借りているのは駅跡付近のみで、他は名鉄が管理すべき部分だ。地域住民が活用しない限り、市も借りられない。

会長：貴重なご意見をたくさんいただきありがとうございました。本日のご意見を生かしてビジョン・実施計画を作ってまいります。

### 3 わくわく事業団体訪問について

委員から、わくわく事業団体の訪問時の様子などについて報告があった。本日参加の住民の皆さんにも聞いていただいた。

団体名：青木台まちづくり協議会（世代を超えたまちづくり事業）

### 4 事務連絡

- まちづくりビジョンのパブコメの実施について
- 地域会議委員の辞職、交替、推薦について
- 次回の会議について

日時：平成27年2月19日（木） 午後7時～

場所：猿投台交流館

内容：「猿投台地区まちづくりビジョンについて」ほか